

令和3年度 開拓精神 No. 6



「命と暮らしを救う集中対策期間」を踏まえた学校教育活動について

現在、長野県では「命と暮らしを救う集中対策期間」として、新型コロナウイルス感染症対策が強化されていますが、茅野市内でもコロナウイルスの感染が確認され、感染拡大が危惧されています。

8月25日にお配りしたおたよりのとおり、学校では、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル(2021.5.28Ver.6)」や長野県教育委員会の「新型コロナウイルス感染症対策に係る県立学校運営ガイドライン(令和3年5月6日改定)」を参考にして、感染予防の徹底を一層図り、教育活動を継続していきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

- これまでも大変丁寧に行っていただいておりますが、今後も、本人にかぜ症状があるとき、ご家族にかぜ症状があるとき、ご家族が「濃厚接触者」となったときには、登校を控えていただくようお願いいたします。「欠席」とはなりません。
- 上記の場合も含めて、欠席等の際には、オンラインで授業内容をライブ配信し、自宅でそれを見ながら学習を行うことができる体制を整えています。8月末から行っているタブレットの接続確認へのご協力、ありがとうございます。今後も、万が一の事態に備えた準備を進めて参りますので、ご家庭のネット環境の確認をお願いします。
- 引き続き、朝の検温等の健康観察の徹底、手洗い・うがい・換気の励行、感染拡大地域への不要不急の訪問の自粛等感染症対策をお願いします。

今後もご家庭と学校との連絡を密にして参りたいと存じます。「新型コロナウイルス感染症」に関わることで、何かございましたら、速やかに学校に連絡をいただけますよう、お願い申し上げます。

また、下記の内容で校長講話を実施しましたが、感染症に係るいじめや差別等の人権侵害が起きることがないようにご家庭でも引き続きご指導をお願いします。

アカシア祭が近づいてきました。年暦のとおり10月1日(金)・2日(土)に行う予定です。今年度も制約のある中での実施となりますが、内容を工夫して、できることを行いたいと考えています。今週から、発表のある文化部員は、アカシア祭準備の一環として、放課後、個人練習や個人制作を始めています。計画が固まり次第、ご家庭に内容をお知らせしますので、アカシア祭へのご協力もよろしくお願い致します。

校長講話

9月7日(火)の朝、放送による校長講話を行いました。

9月 校長講話

まずは、このたびの大雨で、思いがけぬ被害に遭われたみなさんにお見舞いを申し上げます。みなさんやご家族に大きな怪我がなかったことは何よりですが、不安の中、避難所で夜を明かした人もいと聞いています。地元の方にうかがっても、過去に例を見ない大雨だったようですが、一日も早く平穏な生活に戻ることを祈るばかりです。

続いて、新型コロナウイルス感染症に係る話です。現在、長野県の感染警戒レベルは「5」のままで、茅野市内でもコロナウイルスの感染が確認され、感染拡大が危惧されています。

日本赤十字社は、新型コロナウイルスは3つの「感染症」の顔を持っていて、この3つの顔が「負のスパイラル」としてつながらないようにしないといけないと言っています。

みなさん、「3つの感染症の顔」とはどんな顔なのか、聞いたことがありますか？

1つ目は「病気そのもの」です。最近、感染力の強いデルタ株のことがよく取り上げられていますね。2つ目は、自分の気持ちにかかわるもので、「不安と恐れ」です。3つ目は、周りの人への気持ちにかかわるもので、「嫌悪、偏見、差別」です。

この3つの感染症の顔の中で、特に恐ろしいのが、3つ目の「嫌悪、偏見、差別」ではないかと思っています。残念なことに、感染した人やその家族、またつながりのある人々や地域、治療にあたっている関係の方々への誹謗中傷や偏見・差別的言動が報道されています。

つらいことや思いどおりにならないことが続くとイライラし、感情のはけ口として、人に当たってしまう、ということが起こり得ます。しかし、今まで何度も言ってきたように、私たちが恐れるべきは、「人ではなくウイルス」です。誰でも感染する可能性があり、感染者は非難される対象ではありません。「他の人からされたら嫌だと思ふことは、自分はしない」という気持ちを強く持ってほしいと思います。

最後に、みなさんに期待したいことを話します。カヌー競技でオリンピックに出場した羽根田卓也選手が、昨年、東京オリンピックが延期になったときのインタビューで、『「必要なトレーニングができなくなった」と嘆くのではなく、「その中でもこれならできる」ということを常に探すようにしている』と言っていました。「できないことやうまくいかないことを悔やむよりも、一人一人のもっているよさや可能性に気づき、それらを伸ばしていこうという発想」、「温かい気持ちで仲間たちとともに前進していく生活」をみなさんに期待します。

8月20日（金）に2学期始業式が、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、放送で行われました。その際の校長講話については前号でお載せしました。今回は、始業式の中で行われた「生徒意見発表」の内容を掲載します。

2学期始業式 生徒意見発表

1年 K・Yさん

二学期の決意

私は、一学期の反省を活かすことで、より良い二学期を実現したいと考えています。そこで、二つの目標を立てました。

一つ目の目標は、部活に関して、常に昨日の自分を超えるということです。私は男子バレーボール部に所属していますが、この目標を達成するには、自己課題を明確にして部活に参加することと自主練をすることが必要だと考えます。

一学期の私は、先輩についていっただけで精一杯だったり、明確な目標をもたずに部活へ参加していたりという日が多かったです。

そこで二学期は、自己課題を明確にしてから部活に参加するようにします。そうすることで、今までできなかった新しい技を体得できたり、意図をもったチームプレーができたり、それによって仲間との絆が深まるなど、自分にとってもチームにとってもプラスになることがたくさんあります。また、自主練をすることで、基礎体力が向上し、バレーボールの技能向上へとつなげることができます。こ

の目標を達成し、最終的にはチーム目標である全中出場へとつなげていきたいです。

二つ目の目標は、テストで高い点数を取ることです。この目標を達成するには、しっかりと先生の話をおきくことで自主勉の効率を上げること、そして、一学期のテストを見直すことが必要だと考えます。

一学期の私は、自主勉の仕方が分からず、手当たり次第に問題を解き続けていました。今思うと、とても非効率であったと思います。加えて、二学期は一学期とは異なり、中間と期末の二度のテストがあります。そのため、一学期の反省を活かし、より充実したテスト対策を講じなければなりません。

そこで二学期は、しっかりと先生の話聞き、新しい知識を取り入れることはもちろんのこと、その授業の中で重要な学習内容はどこなのかを把握し、優先的に自主勉すべき点を自分で判断できるようにします。そうすることで自主勉の効率が上がれば、テストの範囲を繰り返し復習でき、テスト前に解けなかった問題を解ける問題にしていくことができます。さらに、一学期のテストの見直しをしておけば、自分の力となり、一学期で間違えてしまった問題を再び二学期やそれ以降のテストで出題されても、間違えずに解き、得点につなげることができます。

今挙げた二つの目標を二学期の決意として掲げ、二学期が一学期を超えるより良い学期となるように頑張ります。

2年 N・Yさん

2学期、さらに伸ばしたいこと

私が2学期心に留めておきたいこと、そして、さらに伸ばしたことは、主に3つあります。

一つ目は、大切なクラスメイトと作る教室の雰囲気のことで、私のクラスがどんなクラスかと聞かれたら、「にぎやかで仲の良いクラス」と多くの人が答えると思います。理由は、休み時間の教室が、とても楽しい雰囲気でにぎやかだからです。これは、男子も女子も同じです。すごく明るい雰囲気です。でも、たまに授業中になっても切り替えができていないことがあるため、注意されることもあります。2学期は、自分も含めて、楽しく明るい雰囲気を大切にしながらも、切り替えやメリハリを大切に、一つ一つの授業を大切にできる雰囲気を目指していきたいです。

二つ目は、部活動のことで、私は、ハンドボール部に所属しています。ハンドボール部では、学校生活と家庭生活ができて部活動が成り立っていると、よく顧問の先生に言われています。でも私は、1学期の学校生活での取組は、まだまだ十分ではなかったように感じています。それは、日頃の学習の取組からだと思います。夏休み中こんなことじゃあ部活が成り立たないと思いました。なので、2学期からは、提出ノートからしっかり出して、学校生活を大切にしたいと、精一杯がんばりたいです。

三つ目はクラスのみならずアカシア祭を盛り上げ、大成功させることです。私が1年生の頃は、何も分からないまま、ただやりたい種目を決めて、なんだかんだと自分だけの楽しみしか追いかけていきませんでした。でも、2年生になってクラスが変わって担任の先生に「行事や授業は、先生がやることではなく、自分たちでやるものだ」と言われて、はっとしました。だからアカシア祭をみんなで協力して盛り上げていきたいと思っています。そして1年生も心から楽しいと思えるようなアカシア祭にできるように、3年生を支える存在になりたいと思います。

このように2学期はやらなきゃいけないことも、がんばりたいことも一杯あるので、はじめ、メリハリをつけたり、提出物を出すことを大切にしたりしながら、思い出に残るようなアカシア祭を創りあげて、充実した2学期にしていきたいです。

3年 K・Hさん C・Yさん

3年2組の今までとこれから

※プレゼンソフトを用いての発表

私たちのクラスの良い所は、授業に集中する、何事にも全力で取り組む、男女関係なく接する、接

拶、感謝の言葉を大切にする、無言清掃など普段の生活で大切なことをひとりひとりが意識して取り組むことができるということです。

そして学級全体では、LGBTQ についても学びました。男子と女子の制服を交換したり、男子は女子トイレ、女子は男子トイレを見てみたりしました。そしていろいろな考え方を取り入れ、男女ともに着られるコーデや制服を班ごとに考えました。性について考えられる良い機会になったと思います。

K・H) この授業の中で、何か印象に残ったことはありますか？

C・Y) みんなの笑顔を見て、馬鹿にせず心から楽しんでいる様子が見れたことが印象に残りました。また一つ、3年2組のいいところを知ることができてよかったと思います。

他にも、3年2組にはいいところがたくさんありますが、直したいところもたくさんあります。その中でも、特に直したいところは、言葉遣いです。クラスの中で、つい強い言葉を使ってしまったりといった光景がよく見られます。

K・H) 私もつい、仲の良い友達だと少し強い言い方になってしまいます。どんなに仲が良くても、気を付けたいなと思いました。

言葉で人を傷つけることがないように、クラス全体で意識していきたいです。

このように2組の強みはさらに伸ばし、もっといいところが増えるようにしていきたいです。そのためには、クラス全員で考えられるように、積極的に意見を言ったりできる話し合いの場や時間を設けて自主性を高めていきたいと思っています。自主性があれば、想定外のことが起こっても自分から行動していけると思います。

2学期にはアカシア祭や強歩大会があります。授業はもちろん行事も全力で楽しみ、たくさんの思い出を作りたいです。そして2組全員で、受験という大きな壁を乗り越えたいと思います。最後に、私は以前から、礼について考えていました。全校集会などで生徒会の役員の方や先生方が前に立って礼をした後、返礼をしたいけれどタイミングがうまくつかめず返礼をできずにいました。クラスでも授業前や授業後のあいさつはしっかり意識できるので、次は全校集会での返礼がしっかりできるようになりたいと考えています。そのために、自分たちのクラスがしっかりできるようになりたいと考えています。まだ揃わないし、疲れているときや気が抜けているとき適当になってしまうことがあります。だから、まずは3年2組から改善していき、全校がそろって礼をできるようになりたいです。全校で礼が揃ったら絶対気持ちいいと思います。ぜひ、皆さんいっしょに考えていきましょう。

繰り返しになりますが、まだまだ、新型コロナウイルス感染症の脅威が続いている現状ですので、

◆ 生徒にかぜ症状があるとき、ご家族にかぜ症状があるとき、ご家族が「濃厚接触者」となったときには、登校を控えていただく様お願い致します。

◆ 生徒、ご家族が新型コロナウイルスに関わって、検査や保健所の指示を受けたときは、速やかに学校に連絡をお願い致します。

これまでご理解、ご協力をいただいて参りましたように、生徒、及び保護者の皆様の健康・安全を守るため、今後も、感染症対策、温かな気持ちでの支え合い、につきまして引き続き継続をよろしくお願い致します。

生徒の健康に関すること、スクールソーシャルワーカー（SSW）、スクールカウンセラー（SC）への相談等ご希望がありましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。

茅野市立長峰中学校
〒391-0013 茅野市宮川 11288
担当 濱 喜一郎（教頭）
電話 72-4108
FAX 72-4109